


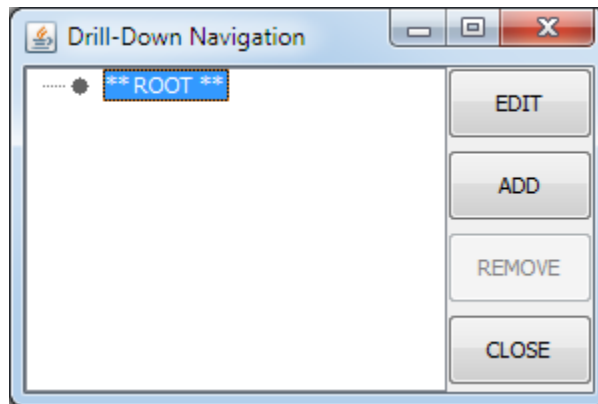
## 実習 4 1 : ドリルダウンレポートの作成

### ステップ 1 : レポートを開く

- 1.) **Organizer** を用いて、実習 1 5 で作成したレポートを選択し、ツールバーの「Open」  ボタンをクリックします。レポートは **Report Designer** で開きます。

### ステップ 2 : ドリルダウン・レイヤーの追加

- 1.) ドリルダウンメニューから '**Navigate**' を選択します。ドリルダウンナビゲーションダイアログが開きます。オープンしたレポートはドリルダウン・レイヤーがないため、レポートのルートノードのみ表示されます。



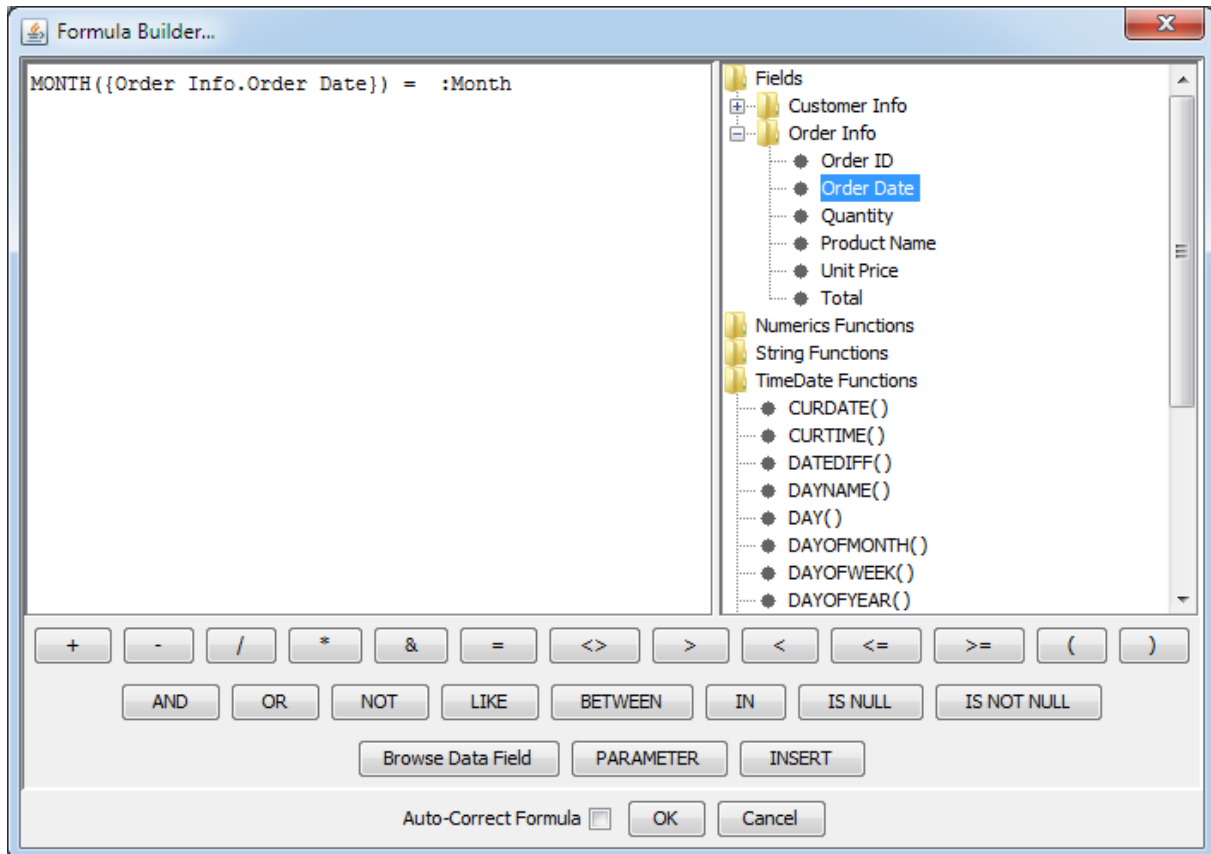
- 2.) ドリルダウン・レイヤーを追加するには、「**ADD**」ボタンをクリックします。ダイアログに、ドリルダウン・レイヤー用のレポートの新規作成、または既存のレポートを追加するオプションが表示されます。新規レポートを作成するオプションを選択し、「**Next**」をクリックします。

### ステップ 3 : データビュークエリの編集

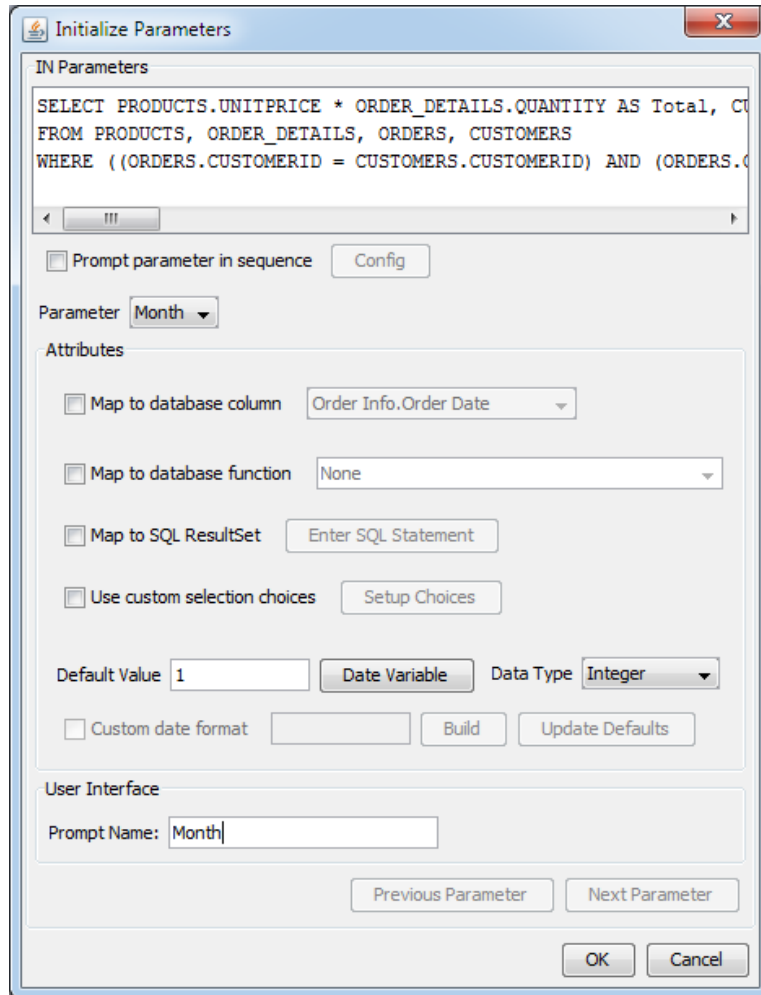
- 1.) データレジストリが開き、ドリルダウン・レイヤーのデータソースを選択します。「**Woodview**」ノードを拡張し、「**Data Views**」サブノードを拡張します。「**Invoicing**」データビューを拡張し、実習 3 7 で作成した「**Customer Orders**」クエリを選択します。「**EDIT**」をクリックし、クエリを編集します。
- 2.) データビュークエリの条件ウィンドウが表示されます。条件ウィンドウにて、「**Contact Name**」フィールドの下の「**Condition**」フィールドを右クリックし、ポップアップメニューから '**Build**' を選択します。フォーミュラービルダーが表示されます。
- 3.) フォーミュラービルダーにて、「**TimeDate Functions**」ノードを拡張し、「**MONTH()**」ファンクションをダブルクリックします。「**Fields**」ノードと該当する「**Order Info**」サブノードを拡張し、「**Order Date**」フィールドをダブルクリック、条件の項目として追加します。「**Order Date**」フィールドがファンクション内に入るように括弧内を編集します。次に、等号 (=) ボタンと 「**Parameter**」

ボタンをクリックします。表示されたダイアログのパラメータ名を“Month”に設定します。完成した条件は下記のようになります：

```
MONTH({Order Info.Order Date}) = :Month
```



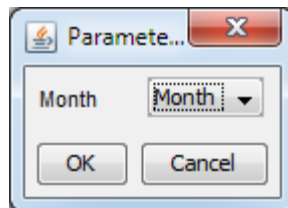
- 4.) 「OK」のクリックでフォーミュラービルダーを閉じ、条件を保存します。
- 5.) 次に、“Company” コラムの「Condition」フィールドを右クリックし、ポップアップメニューから「Delete」を選択、条件を削除します。
- 6.) オプションメニューから、「Initialize Parameters」を選択し、パラメータ初期化ダイアログが表示されます。ダイアログで、パラメータをコラムに対応付けせずに、データタイプを“Integer”に設定し、初期値を“1”に設定します。「OK」のクリックし、ダイアログを閉じます。



7.) 条件ウィンドウにて、「OK」をクリックし、変更内容を保存、データレジストリに戻ります。

#### ステップ 4 : レポートの作成

- 1.) レジストリで、編集したクエリを選択し、「NEXT」をクリック、ドリルダウン・レイヤーに使用します。
- 2.) クエリ内のパラメータを対応付けするために、メインレポートでどちらの列を選択するか指定するダイアログが表示されます。“Month”を選択し、「OK」をクリックします。



- 3.) ダイアログにて、クエリの結果が表示されます。「Next」をクリックし、レポートタイプとして「Master and Details」を選択します。次のダイアログでレポートに使用する下記フィールドを選択します。

Order ID  
Order Date  
Quantity  
Product Name  
Unit Price  
Total

- 4.) データマッピングウィンドウにて、プライマリキーとして“Order ID”を選択し、“Order Date”フィールドの「Master Field」オプションをチェックします。

Column Name	Data Type	Visible	Master Field
Order ID	Integer	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Order Date	Date	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
QUANTITY	Integer	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Product Name	String	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Unit Price	Decimal	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
TOTAL	Numeric	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

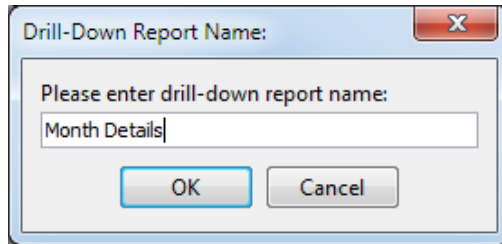
Primary Key: Order ID

Side-By-Side Layout:


Top N Report Column: Order ID Number: Ascending

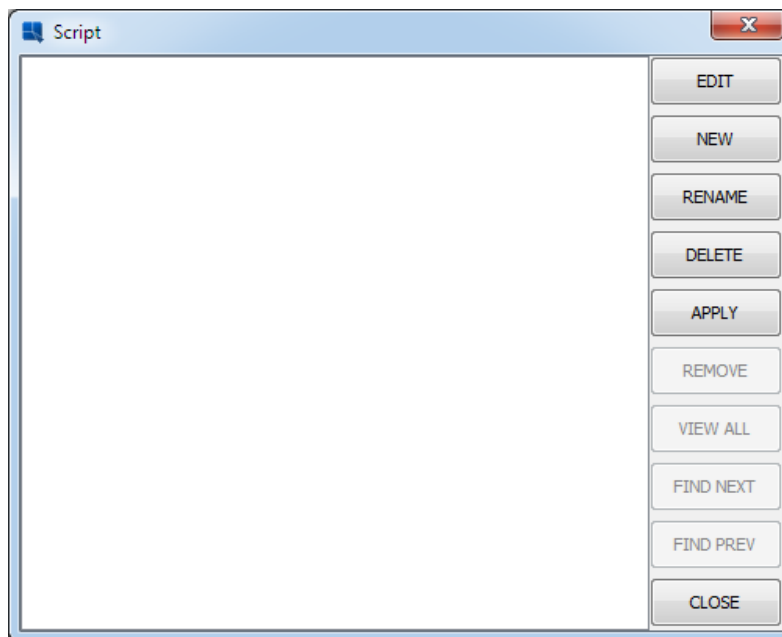
- 5.) 追加のプレフォーマットオプションを設定するために「Next」をクリックします。レポートタイトルの追加を選択し、次のタイトルを追加します：“Sales for January 2004”. 「Next」を選択し、レポートスタイルとして「List Break-left」（最後）を選択します。「Done」をクリックし、レポートデザイナーに移行します。

- 6.) ドリルダウンの表示名を指定するダイアログが表示されます。“Month Details”を入力し、「OK」をクリックします。



#### ステップ5 : スクリプトの追加

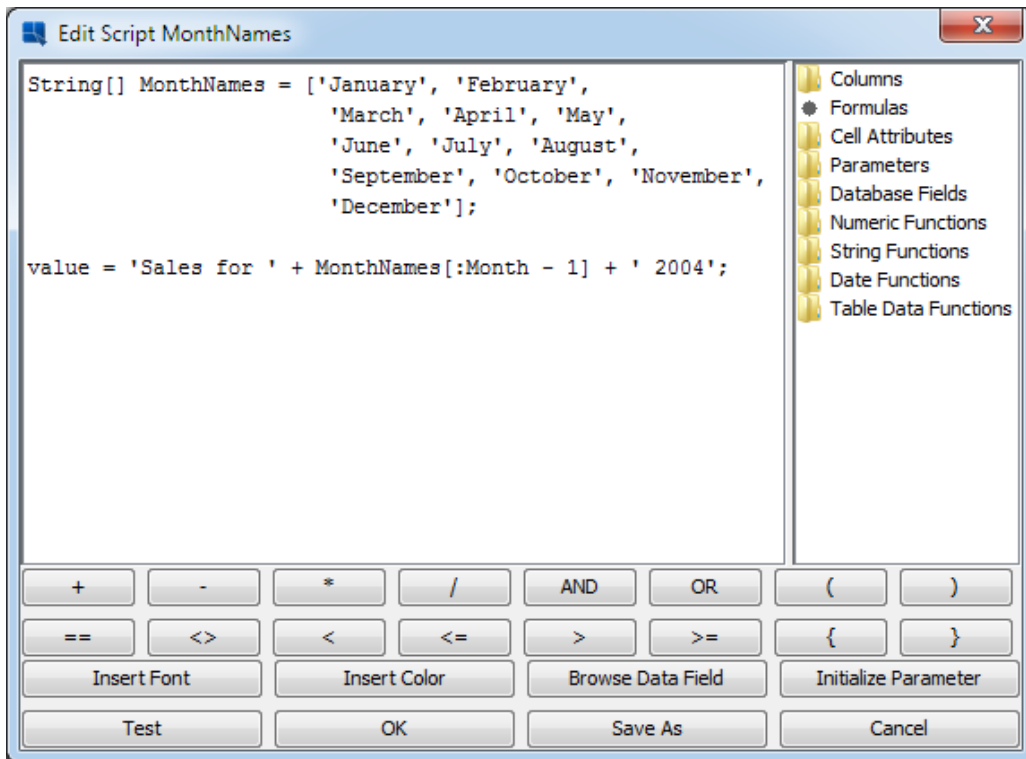
- 1.) レポートデザイナーにて、レポートに追加したタイトルを選択し、ツールバーから  ボタンをクリックします。レポートに定義しているスクリプトのリストが表示されます。



- 2.) 新しいスクリプトを作成するには、「New」をクリックします。ダイアログにて、スクリプト名として「MonthNames」を入力します。
- 3.) フォーマービルダーに下記のスクリプトを入力します：

```
String[] MonthNames = ['January', 'February', 'March', 'April', 'May',  
'June', 'July', 'August', 'September', 'October', 'November',  
'December'];  
  
value = 'Sales for ' + MonthNames[:Month - 1] + ' 2004';
```

このスクリプトは実習 3 2 でレポートのルートレベルに作成したスクリプトとほぼ同じです。今回は、月名として、コラムの値ではなく、パラメータで指定した値を取得したものになります。



- 4.) スクリプトが正常に動作するかを確認するために、「Test」ボタンをクリックし、「OK」をクリック、フォーミュラービルダーを閉じます。

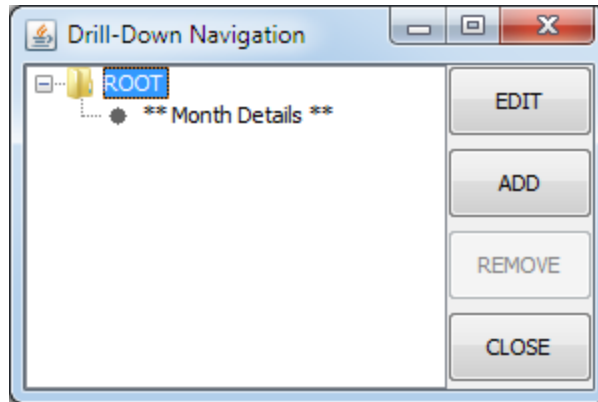
#### ステップ6： スクリプトの適用

- 1.) スクリプトリストから、新規作成したスクリプトを選択し、「Apply」ボタンのクリックでタイトルに適用します。
- 2.) スクリプトを閉じ、左上側にスクリプトを示す小さなチェックマークが表示されます。

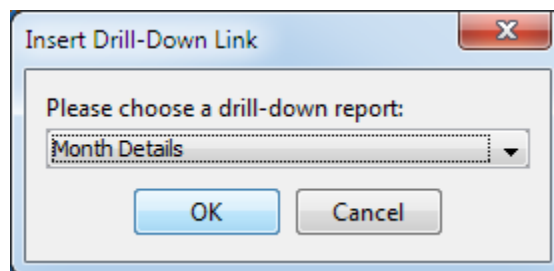


#### ステップ7： ドリルダウン連携の追加

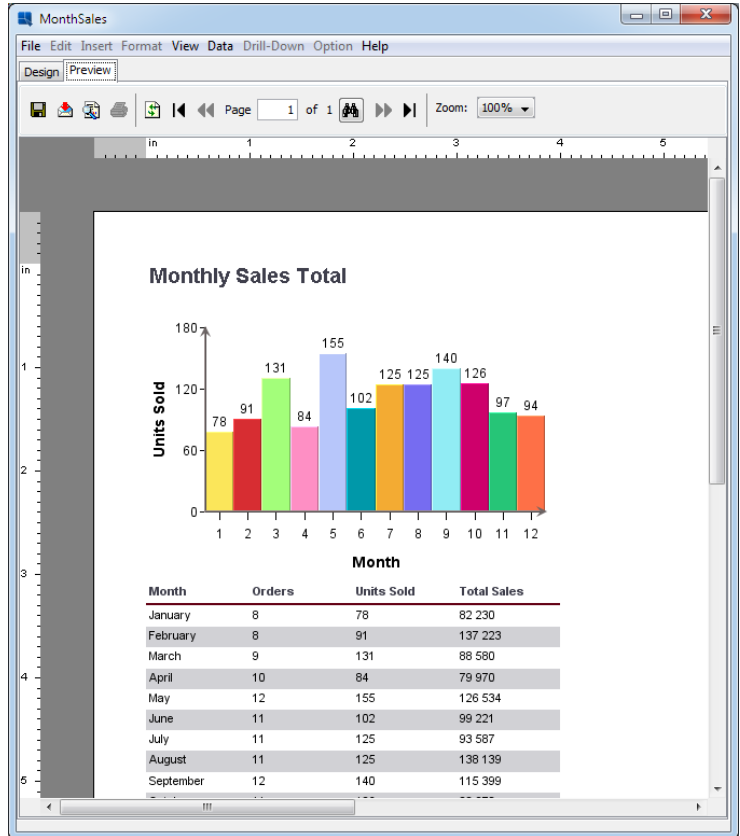
- 1.) ドリルダウンメニューから、「Navigate」を選択し、ドリルダウンナビゲーションダイアログを再び表示します。追加したレイヤーが表示されます。



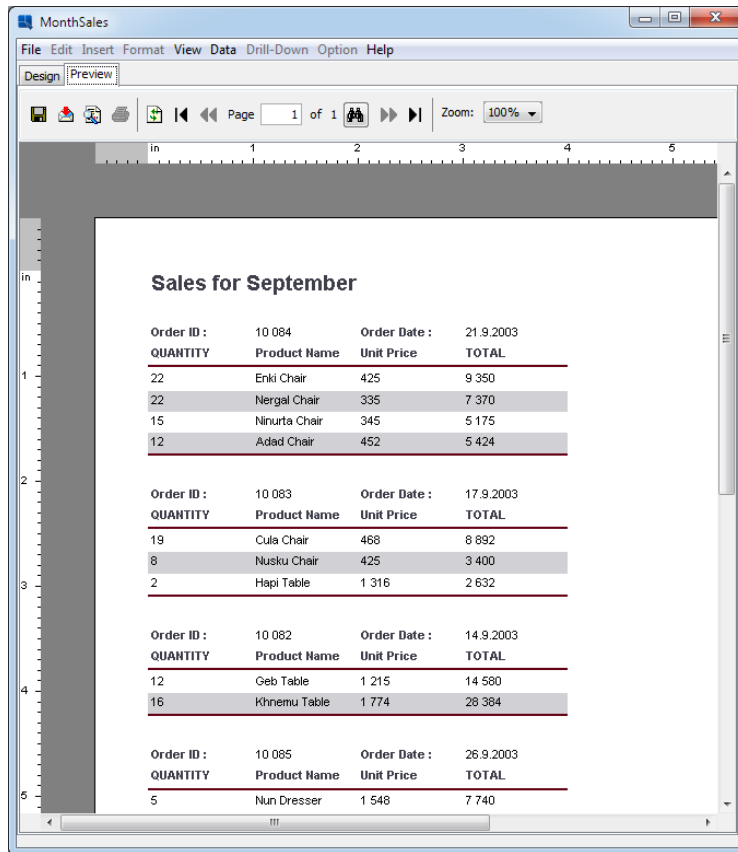
- 2.) 「ROOT」ノードを選択し、「Edit」のクリックでトップレベルに戻ります。ドリルダウンレベルの変更内容を保存するためのダイアログが表示されます。「Yes」をクリックします。
- 3.) トップレベルにて、実習 3 2 で追加したチャートをクリックし、ドリルダウンメニューから「Drill-Down Link」を選択します。チャートをどちらのレベルに連携するかのダイアログが表示されます。作成したレベルを選択し、「OK」をクリックします。



- 4.) ライブデータを使用してレポートをプレビューします。チャートのコラム上にカーソルを合すと、コラムが反応しアクティブ化したリンクとなることに注意してください。コラムのいずれかをクリックしますと、その月のデータを反映した低レベルのレポートが表示されます。トップレベルのレポートに戻るには、右クリックし、ポップメニューから「Back」を選択します。







## ステップ 8 : レポートの保存

- 1.) レポートの変更内容を保存するには、ツールバーから「Save」アイコンをクリックします。
- 2.) Report Designer を閉じます。